

# 環境省

環境省における地球観測の主な取組

# 環境省における地球観測関連の 主な取組

平成21年7月10日  
環境省

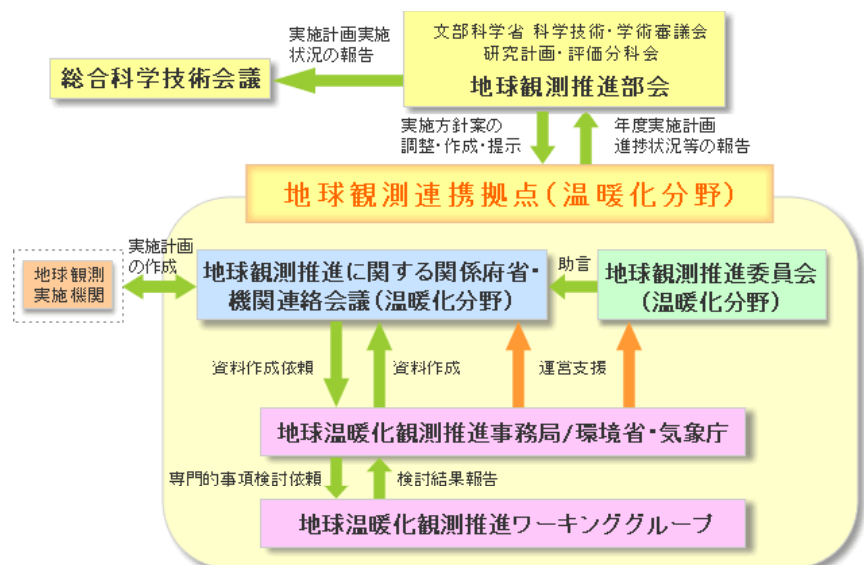
【連携拠点】

## 地球観測連携拠点(温暖化分野)

○「地球観測の推進戦略」(2004年12月総合科学技術会議決定)に基づき、地球観測システム(温暖化分野)を統合されたものとするため、平成18年度に「地球観測連携拠点(温暖化分野)」を環境省と気象庁が共同で設置。その運営を行う地球温暖化観測推進事務局を(独)国立環境研究所内に設置。

(連携拠点の役割)

- ・地球温暖化分野の観測ニーズ等の取りまとめ。
- ・観測の実施計画の取りまとめ
- ・観測施設の共同利用促進
- ・観測データの流通促進
- ・機関間・分野間連携の促進
- ・成果の広報等



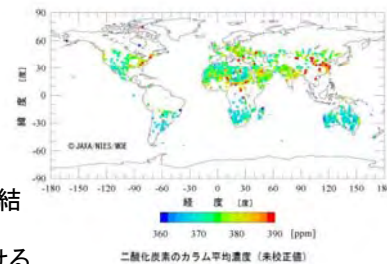
# 温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)

- ◎「いぶき」の開発・運用は、環境省、(独)国立環境研究所、(独)宇宙航空研究開発機構 (JAXA)の三者プロジェクト(平成21年1月23日打上げ成功)。
- ◎温室効果ガス濃度の全球分布とその時間的変動を観測することにより、温室効果ガスの地域ごとの吸収・排出量の把握等を行い、環境行政へ貢献。



衛星の重量: 1.75t  
 高度: 666km  
 軌道: 太陽同期準回帰軌道 (傾斜角98度)

温室効果ガス観測センサ  
 温室効果ガス(CO<sub>2</sub>、メタン)、雲・エアロゾル



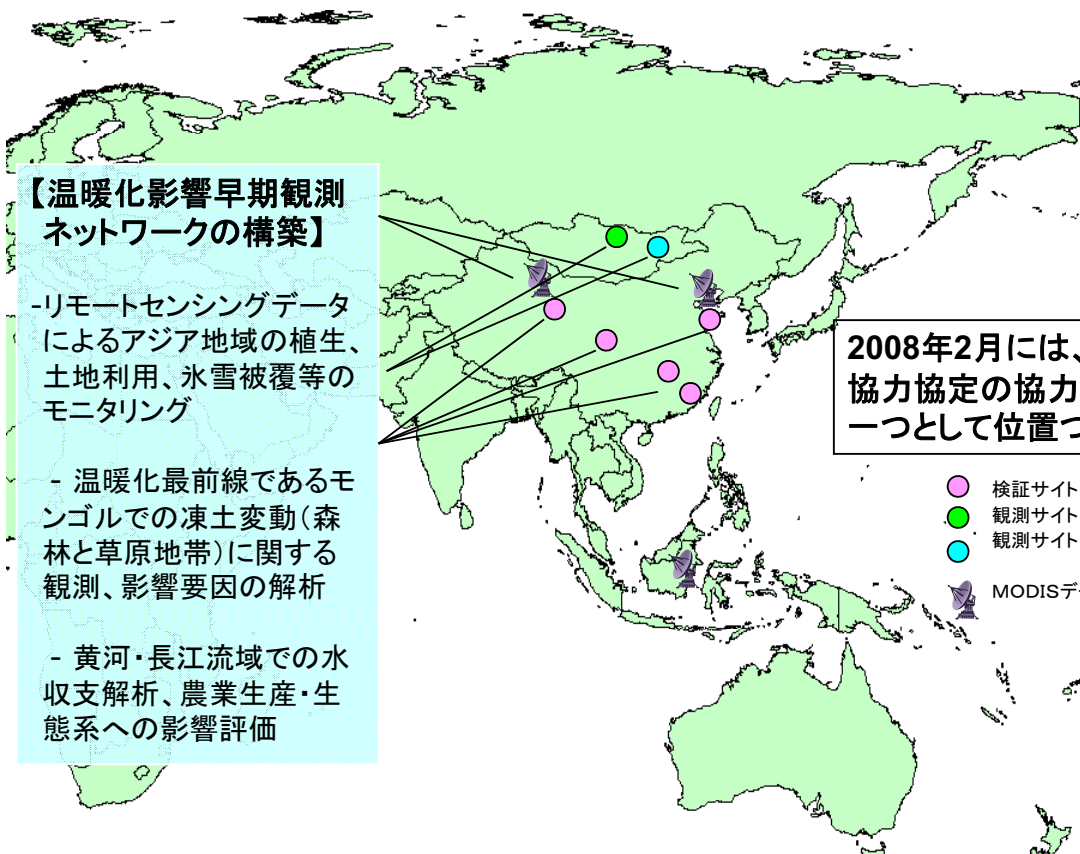
【平成21年5月28日記者発表】  
 「いぶき」による観測データの初解析結果(二酸化炭素濃度)  
 ※平成21年4月20日～28日における、未校正データを用いた解析結果

温室効果ガス濃度分布の  
 全球観測

◇地球観測の統一的な実施  
 (温暖化の理解・確度の向上)  
 ◇より精度の高い気候変動の予測  
 (将来必要な削減レベルの精緻化等)

・地球温暖化対策の一層の推進  
 ・国際的な環境研究への貢献

# 気候変動影響評価パートナーシップ推進事業



## 【温暖化影響早期観測ネットワークの構築】

- リモートセンシングデータによるアジア地域の植生、土地利用、氷雪被覆等のモニタリング

- 温暖化最前線であるモンゴルでの凍土変動(森林と草原地帯)に関する観測、影響要因の解析

- 黄河・長江流域での水収支解析、農業生産・生態系への影響評価

2008年2月には、日中科学技術協力協定の協力プロジェクトの一つとして位置づけ。

- 検証サイト(中国)
- 観測サイト(モンゴル・森林)
- 観測サイト(モンゴル・草原)
- ▲ MODISデータ受信局